信更地区人権住民集会　～人権を尊重し合う信更地区市民の集い～

令和３年 12 月４日（土）　住民自治協議会 教育文化部会 人権教育促進委員会、社会を明るくする運動推進員会、更生保護女性会 及び 長野市立信更公民館 主催による、『信更地区人権住民集会』を開催しました。

第１部では、信更小学校児童２名の発表、信更中学校生徒会の発表、信更小学校瀧田校長先生による「人権教育の取組みについて」の発表、人権啓発標語最優秀賞の表彰式、第２部では、“まいさぽ長野市”所長土屋ゆかり氏による、『誰も排除しない地域を目指して』～生活困窮者支援の現場から思う事～ と題した講演会を行い、当日は 58 名もの方々にお越しいただきました。また、本年度人権啓発標語選出校である、信更中学校の優秀作品 13 点を浄書いただき、会場に掲出しました。最優秀賞の標語につきましては、今年度も全戸配布いたしますので、各ご家庭での人権啓発のお役に立てていただけましたら、幸いです。今回も多くの方のご協力を得まして、無事に信更地区人権住民集会を開催することが出来ました。ありがとうございました。

人権教育啓発標語

信更中学校より提出いただきました標語の中から、人権教育促進委員の投票において選出されました

最優秀作品

一言で　あなたの心に　咲く笑顔　　三年　小林　琉聖

優秀作品

あいさつは　みんなをつなぐ　いい言葉	二年　大矢　一輝
忘れないで　ひとりひとりが　違うこと	二年　大矢　悠衣
あいさつは　ひとをつなぐ　心だ	二年　西村裕之進
人間は　いろんな色　差別しない	二年　畠山　瑛太
楽しいな　きみとあそべる　毎日が	二年　藤井　飛龍
その笑顔　誰かの心　救ってる	二年　三澤　桃花
声かけよう　ぜったいだれも　一人にしない	三年　石坂　由奈
内側に　秘めてる優しさ　みつけよう	三年　大久保帆乃郁
いじめはね　人が傷つく　いけないよ	三年　髙沼　琉偉
耳すまし　聞こえてこない？　心の声	三年　小林　一樹
考えて　いじめられてる　人達を	三年　小柳　海斗
みんなでね　なかよしの輪を　広げよう	三年　丸山　優莉

「人権同和教育で学んだこと」

６年　大 矢　礼 衣

私が人権同和教育で学んだことはどんな人も自分と同じ「心」があるということです。

この地球では、いろんな所で男女、人種、名前、障害などの差別が多くあります。「私には夢がある」では、人種での差別にいついて学びました。アフリカ系アメリカ人で黒人のマーティンさんは、白人がバスに乗ってきたのに席をゆずらなかったというだけの理由でたいほされました。それを知ったアフリカ系アメリカ人のキング牧師は、このような差別をなくして、白人と仲良くするという夢をもち、同じアフリカ系アメリカ人と協力して雨の日も風の日も、寒い日も暑い日も、バスに乗らないというボイコット運動を一年以上続けました。性格はいいのに見ためだけで判断されて差別され、さらにボイコット運動でも苦労して、相当辛かったはずです。言葉にはしてないけど、相当辛かったはずです。この努力のおかげで、今ではアメリカに、差別をゆるさないという法律があります。日本にもこのような法律があります。

しかし、今でも差別やいじめは多くあります。それはきっと、人に好きな食べ物ときらいな食べ物があるように、好きな人ときらいな人がいるからであり、好きな食べ物ときらいな食べ物の差をうめられないように、好きな人ときらいな人の差もうめられないからだと思います。でも、それを行動にしなければ差別やいじめはなくるはずです。だから、男の人も女の人も、どんなはだの色をした人も言葉にしないだけで自分と同じ「心」があるということを行動にできる人になりたいです。

「人権同和教育で学んだこと」

６年　石 坂　み ゆ

私は、人権同和教育で差別について主に二つのことについて学びました。

一つ目は、キング牧師の「私には夢がある」について学びました。この時、白人と黒人で区別されている時代でした。私たちはまずはじめに、キング牧師の夢について考えました。『暴力を使わない。』『だれとでも仲良くできる。』『人としての在り方で評価される。』などといった夢だと考えました。次に、自分たちはどのような行動などをしていけばよいか考えました。私は、『場所やはだの色など関係なく仲良くする。』と考えました。もし、このようなことがあった場合キング牧師の「私には夢がある」を思いだしたいです。

二つ目は、ちがいについて学びました。例をもとに、「あってもいいちがい」「あってはいけないちがい」「どちらもいえない」を○×△でわけました。私は、何かやるこの決め事について、ちがいがはっきりせず、みんなの意見でなっとくしました。次に「あってはいけないちがい」をなくすために、なにをすればよいか考えました。「生まれながらの個性をばかにせず、人の個性を尊重しあう。」「差別的なことをしない。」このことだけでも少しは、「あってはいけないちがい」がなくなると私は思います。

私は、人権同和教育で学んだことをいかし、だれとでも仲良くし、人の個性を尊重して、差別をなくしていきたいです。

「いじめをしない、許さない学校作り」

3年　石坂由奈　小林琉聖

令和3年度
前期人権教育月間

人権生徒集会テーマ
「お互いの個性を守るためには」
信更中学校生徒会
（令和3年6月）

第１回人権生徒集会
- ・生徒会長の話
- ・DVD「聲の形」前半視聴
- ・意見交換
- ・学校生活に関するアンケート記入

第２回人権生徒集会
- ・アンケート結果の発表・意見交換
- ・DVD 後半視聴・意見交換

第3回人権生徒集会
- ・ロールプレイ・意見交換
- ・信更中学校人権宣言
- ・私たちが目指す信更中学校

わたしたちが目指す学校

いじめがなくみんなが楽しく生活できる信更中
互いの人権を尊重しあえる信更中
いじめや無視のない信更中
全員が仲のよい信更中
みんなが仲良く協力しあえる信更中
一人一人の違いを認め合える信更中
学年・性別の壁がなく全校が仲のよい信更中
互いに助け合い、高めあっていく友達のいる信更中
平和な信更中
一人一人の違いを認める信更中
いじめや仲間はずしのない信更中
互いを尊重しあい、いじめを許さない信更中
互いの良さを見つけ、誰とでも仲よくできる信更中
みんなが楽しく学校生活おくることのできる信更中

目指す学校にするために、すべきこと

〇困っている人に優しく接して話を聞いて、どうするか決めたい。

〇いじめをしない。いじめを見たらすぐに注意できるようにしたい。

〇いじめを見たら先生に相談する。

〇違いを認め合い、受け入れる。困ったことがあったら全員で助け合えるようにしたい。知らないうちに傷つけないようにしたい。

〇冷たい言葉を言わないようにしたい。全校で関わる授業でも協力して活動したい。

〇視点を変えて、相手がどんな気持ちか、相手に失礼なことを言っていないかなど、日常生活で注意していく。悲しんでいる人の相談にのってあげられるような人になれるように努力したい。

〇後輩に積極的に話しかけたい。困っていたら自分も解決に協力したい。

〇自分の言葉や態度が誰かを傷つけていないか、相手の立場に立ってもう一度よく考えていきたい。一人一人の良さを見つけ、相手を大切にしていきたい。常にいじめの怖さを頭に入れ、自分の言動を振り返りたい。

〇友達との会話の中で傷つけるような発言をしているかもしれないので、自分の言葉には責任をもって言うようにしたい。

「信更中学校人権宣言」

前文

信更中学校生徒会では平成 21 年 6 月に人権生徒集会を開き、いじめについて学びました。

人権生徒集会や、全校でおこなったいじめについてのアンケート結果から、この中学校にも、いじめで苦しんでいる人がいるという事がわかりました。そして、いじめをなくすためにはたくさんの「勇気」が必要だということもわかりました。

いじめをしてしまっている人は、いじめをやめる勇気。いじめを受けた人や、周りで見ている人は、いじめをしている人に「やめろよ」、という勇気。

しかし、わかっていてもなかなか勇気が出せないということもアンケートからわかりました。

そこでいじめをしない、いじめを許さない、そんな信更中学校にするために、「信更中学校人権宣言」を採択し、全校生徒で、勇気を出して、いじめをなくしていくことを約束します。

第一条

信更中学校生徒は、一人一人の違いを認め合い、いじめや仲間はずし、言葉の暴力を許さず、互いの人権を尊重し合います。

第二条

信更中学校生徒は、いじめを見たら絶対見すごしたり、見て見ぬふりをしたりせず、勇気を出して注意します。

第三条

信更中学校生徒は、いじめを受けた場合には、ゆうきを出して友達や先生、家族などに相談します。

第四条

信更中学校生徒は、人権を無視する行為が起きた場合には、全校の生徒や先生方お力を合わせて問題を解決します。

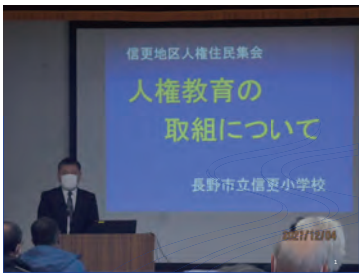
第五条

信更中学校生徒はいつも周りにいてくれる友だち、先生方、家族などへの感謝の気持ちを忘れず、互いに尊重し合います。

第六条

この宣言に基づいて毎年6月に自分達の生活を振り返り、いじめをしない、させない、許さない信更中学校にしていきます。

平成21年12月18日　長野市立信更中学校生徒会



1

信更地区人権住民集会

人権教育の取組について

長野市立信更小学校

2

本校の学校教育目標

未来を創る信更の子
夢を描く
夢に向かう
夢をつなぐ

3

本校の校歌

3番の歌詞

～ ああ その やさしさに
つつまれて
夢と希望の 信更小学校

4

未来を創る信更の子
夢を描く
夢に向かう
夢をつなぐ

↓

やさしさにつつまれてこそ
達成できる目標

5

校長講話

自分(じぶん)で
できることをふやす
友(とも)だちと
できることをふやす
あきらめない

6

みんなの「できること」が
ふえていくために・・・

老人介護施設の話をしました

7

老人介護施設(ろうじんかいごしせつ)にて

8

でも、自分でできないことが多(おお)い方(かた)もいます

9

施設(しせつ)で働(はたら)く人(ひと)は考(かんがえ)えました

おとしよりの
みなさんが
まえにできていたように
この施設でも
できることをふやしたいな

10

そこで

・おとしよりのみなさんの得意(とくい)なことや好(す)きなことを知(し)ろう
・おとしよりのみなさんに得意なことや好きなことで活躍(かつやく)できるようにしよう
・活躍してくださったことに感謝(かんしゃ)しよう

11

そして

おとしよりのみなさんに
「ありがとう」
を伝(つた)える
ようにしよう

12

おとしよりの方は
こんなに活躍してくれました

歌(うた)が好きなAさんには、お楽(たの)しみ会(かい)で歌を歌ってもらおう

ありがとう！

13

いつも元気(げんき)なBさんには、朝(あさ)のつどいで挨拶(あいさつ)をしてもらおう

ありがとう
ございます！

14

料理(りょうり)が得意(とくい)なCさんには、おやつづくりを手伝(てつだ)ってもらおう

どうも
ありがとう！

15

「ありがとう」を伝えられ

自分でできることがふえてきたAさん
そしてAさんは
『母(はは)の日(ひ)に、妻(つま)に感謝(かんしゃ)の手紙(てがみ)を贈(おく)ろう』
とおもいました

16

しかし・・・

病気(びょうき)で、ペンがにぎれない！
自分のおもったことを
文にあらわすことができない！

17

Aさんのねがいを知(し)り、
職員(しょくいん)がよりそって手紙(てがみ)を書(か)く
お手伝(てつだ)いをしました
Aさんは あきらめませんでした

18

そして

ペンがにぎれた！
文(ぶん)が書(か)けた！

19

20

「ありがとう」は 勇気(ゆうき)をあたえ
自分でできることを
ふやしていきます

21

「ありがとう」は
友だちのねがいやきもちを知り てつだっていこうとするきもちになり
友だちとできることをふやしていきます

22

「ありがとう」でいっぱいの
信更小学校は
とっても すてきな
小学校になります

23

運動会 組体操

今年の組み体操は、
初めて全校で取り組みます。
これまでとは違った、新しい組み体操です。
新しい技、厳しい練習、
新たな変化にはたくさんの困難がありました。
そんな困難でも、仲間を信じ、
助け合うことで乗り越え、

24

運動会 組体操

そして乗り越えていくたびに自分たち自身も1つずつ大きく変わっていくことができました。
今年度の組み体操のテーマは
『Be a change～変化の先へ～』です。
みんなで心を合わせて様々な困難を乗り越え、変わり続ける私たちの組み体操を、どうぞ、ご覧ください。

25

26

なかよし旬間

『あったか言葉を
たくさん見つけて
つたえよう!!』

27

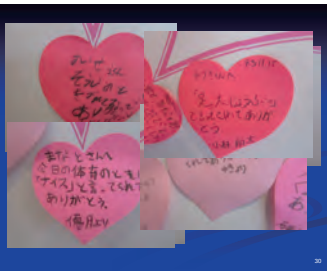
なかよし集会

『あったかことば』をかけてみよう

・ひとりぼっちのともだちを見たときに
・ろうかを走っている友だちを見たときに
・ドッジボールの試合に負けて、勝ったチームの 悪口を言っている友だちを見たときに
・困ったときに、助けてくれた友だちに

28

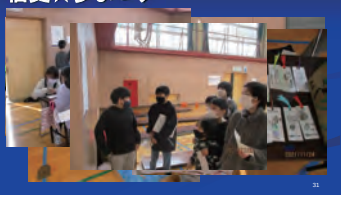
29



30

オープンスクール

信更☆夢まつり



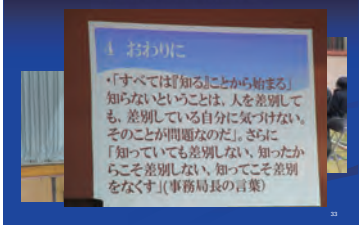
31

オープンスクール

授業の様子

32

人権教育講演会



33

識字学級から学ぶ

わたし じ べんきょうしたら
そのじ にげんようにって てにかいてね
ぐっと にぎりしめて
いえに もってかえるんですわ

34

識字学級(しきじがっきゅう)

子どものころに、差別などによって、学校に通うことができず、このおばあちゃんのように、文字を覚えることができなかった人たちがいます。

文字が読めないばかりに、文字が書けないばかりに、つらい思いを重ねて生きてきたことでしょう。

35

そんなおばあちゃんやおじいちゃんたちが、みんなで集まって文字の学習会を開きました。

これが識字学級のはじまりです。

36

37

38

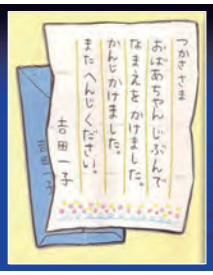
39

40

41

42

43



44

タやけがうつくしい

わたくしは うちがびんぼうであったので
がっこうへいっておりません。
だから じをぜんぜんしりませんでした。
いま しきじがっきゅうでべんきょうして かなだけは だいたいおぼえました。
いままで おいしゃへいっても うけつけでなまえをかいてもらっていましたが ためしにじぶんでかいてためしてみました。
かんごふさんが 北代さん と よんでくれたので 大へんうれしかった。

45

タやけを見ても あまりうつくしいと思はなかったけれどじをおぼえて ほんとうにうつくしいと思うようになりました。
みちをあるいておっても かんばんにきをつけていて ならったじを見つけると 大へんうれしく思います。すうじおぼえたので スーパーやもくよういちへゆくのもたのしみになりました。
また りょかんへ行っても へやのばんごうをおぼえるので はじもかかなくなりました。これからは がんばって もっともっとべんきょうをしたいです。
十年ながいきをしたいと思います。
(昭和)四十八年二月二十八日

北代 色

46

これからも
様々な学習を通して
自分も相手も大切にしようとする
人権教育の取組を続けていきたいと思います

ご清聴ありがとうございました

47

48

「誰も排除しない
～生活困窮者支援の

49

地域を目指して」
現場から思うこと～

50

長社会福祉法人
長野市生活就労支援センター

51

長野市社会福祉協議会
“まいさぽ長野市”
所 長　土屋ゆかり

52

53

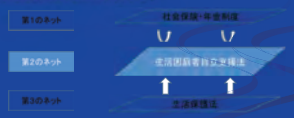
生活困窮に陥る恐れは誰にでもあります。

- 経済や雇用の変化に伴い、非正規雇用、低所得者等が急増し、働ける世帯の生活保護受給者も増加しています。また、単身世帯やひとり親世帯の増加、近所づきあいの希薄化などによる社会的孤立によって、誰にも相談できない状況も広がっています。
- このような誰もが生活困窮に陥るかもしれない恐れは誰にもあると言えます。

54

生活困窮者自立支援法の位置づけ

◆生活保護に至る前に早期に支援を行う「第二のセーフティネット」として平成27年4月より「生活困窮者自立支援法」がスタートしました。



55

“まいさぽ長野市”について

- 「生活困窮者自立支援法」では、生活に困っている方の自立に向けた相談に応じる「自立相談支援事業」が必須事業として位置づけられています。
- 長野市は、この自立相談支援事業を長野市社会福祉協議会に委託し、平成27年4月に「まいさぽ長野市」を開設しました。
- 「まいさぽ長野市」では、専門の相談員を配置し、市民の皆様からの相談に応じています。

56

生活困窮者支援の現場から

- ◆ 引きこもり
- ◆ コロナの影響
- ◆ 身寄りがない
- ◆ 狭間の課題

57

事例を通して考える 1

Aさんはひとりで中学生の子どもを育てています。

学校で、スキー教室があるのですがスキーウエアを用意することができず、スキー教室の日は休んでいたそうです。

部活にも入っているのですが、遠征費やユニホーム代等がかかり困っている、とのことです。

58

事例を通して考える 2

Bさんは知的障がいのある32歳の女性です。

ある日、通院先の医院から「Bさんが『のどが痛い』 といって突然医院に見えた。以前も『風邪かも』と突然医院に見えた。コロナがあるので事前に 電話をしてから来て下さい、と伝えたが今日も突然来院されて困っている。」との相談がありました。

59

事例を通して考える 3

Cさんは、50代女性。母親と二人暮らしでしたが介護が必要な状態になり、施設に入所になりました。

今まで家のことは母親がやっていたため、近所からは、「木と草が伸び放題」「ゴミ出しのルールを守らない。」「地区の役を引き受けない。」等の相談が寄せられるようになりました。

60

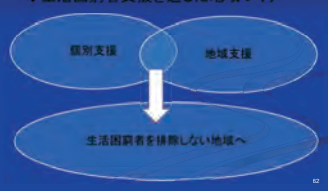
生活困窮者とは

◆ 経済的困窮だけではない「関係の貧困」

61

生活困窮者を排除しない地域づくりへ

◆生活困窮者支援を通じた地域づくり



62

私たちにできること

① 気づく(早期発見)
② 声かけ
③ 受け止める(受容)
④ つなぐ
⑤ 見守り

63

64